

いつも一緒 富山のペットたち

かゆい！
不快な「かゆみ」の中で、あなたは家族と楽しい時を過ごすことができますか。これは、あなたのペットにも当てはまることです。

あなたのペットの被毛の奥に「黒っぽい粉が見つかったら、ノミのふんの可能性があります。」



山王ペットクリニック院長
(富山市上二杉)

大霜 唱治

ノミとマダニ

犬や猫の皮膚病全体の中で、ノミの寄生によるかゆみは、「3大かゆがり病」の一つに数えられているほど強烈で我慢がたいものです。ノミに寄生された犬や猫はその「かゆみ」のために、自分のつめや歯で皮膚が傷つくまで強くかき、たとえ傷ついた皮膚が化膿して出血し、痛くてもかき続けます。このかゆみは犬や猫の強いストレスになります。ノミは持続的なかゆみを引き起こすばかりでなく、吸血による貧血、アレルギー性皮膚炎の誘発のほか、腸内寄生虫(瓜実条虫)をつつすなど、さまざまな病気も引き起こします。野良猫などが落としたノミをいつもの散歩コースで拾ったり、散歩やトリミング、ホテル



滴下タイプのノミ、マダニの駆除剤。首の付け根の皮膚に薬剤を落として使う＝山王ペットクリニック

かゆみは強いストレス

などでノミのいる動物と接触したりすることで、季節を問わず簡単に寄生します。

ひとたび寄生したノミは、犬や猫の体から離れると生きていけませんから、自然にいなくなることはありません。ノミは寄生すると、ほぼ1日で犬や猫の体の上で産卵を始めます。2週間前後の生涯で約500個産卵し、産み落とされた卵は孵化するために床に落ちます。ですから、犬や猫が移動する場所はず

べてノミの卵がばらまかれることになりません。

しかも、それぞれの卵は幼虫やさなぎの時期を経て最短で約2週間で成虫になり、また産卵します。あっという間に家じゅうがノミだらけになり、ついにはペットだけでなく、人からも血を吸い始めます。

マダニもまた、人を含むさまざまな動物に寄生し、吸血するばかりか病原体もばらまきます。犬が草むららを散歩するだけ

で、マダニは簡単に寄生します。帰宅後ペットの顔に「突然できた大きなできもの」としてマダニを発見したり、たぐきんの「動き回る小さな虫」として幼ダニを発見したりすることがあります。散歩から帰ったら、寄生されやすい顔(特に目の周囲)や背中

の被毛をかき分けて、よく観察してください。

マダニはノミと違い、十分に血を吸うと動物の体からいったん離れ、大きくなるために脱皮

予防が可能です。ペットを寄生虫から守るためには、散歩を控えたり毎日シャンプーしたりするより、薬剤を使う方が簡単で確実です。お近くの動物病院でご相談ください。

家族の一員であるペットが、寄生虫のかゆみから解放され、家族みんなと楽しい時が過ごせるように、ノミやマダニの予防をしてあげましょう。

◇ 次回の「いつも一緒 富山のペ

脱皮後は草の上などに登って散歩中の犬や猫を待ち伏せし、また寄生します。吸血と脱皮を繰り返しながら成長しますから、脱皮するために体から離れた場所が部屋の中なら、次に寄生されるのはペットとは限りません。

ノミやマダニの寄生からペットを守ることは公衆衛生上も重要で、従来の首輪タイプのほか、飲み薬や皮膚に直接、滴下するタイプなどいろいろな薬剤が開発されています。市販の製品もありますが、動物病院では農林水産省認可の動物用医薬品を取り扱っています。それぞれ正しく使用すれば100%の駆除や

ットたちは、6月3日に掲載します。